

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200165
事業所名	グループホーム たのしい家 鶴里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ・町内会に加入し、回覧板や運営推進会議等で地域情報を得ている。地域の清掃活動や運動会、盆踊りなどに積極的に参加したり、事業所の情報を発信して交流を深めている。 ・地域の「こころスポット」に登録し地域の子ども会や公民会の会合に開放している。 ・週1回の移動スーパーに場所を提供をし、入居者と地域の方が一緒に利用することで地域交流につなげている。 ・地域の方々を交えた体操教室や音楽療法、事業所内の夏祭りを継続したり、日々の散歩や買い物、子ども110番等を通じて地域との関わりを深めている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） ・入居者や家族、公民会長、地域包括支援センターの参加を得て、併設の小規模多機能事業所と合同で年6回開催している。身体拘束適正化委員会を同時に行っている。 ・事業所の運営状況やサービスの状況報告等を行い、防災訓練や感染症対策等を議題とした有意義な会議を行っている。参加者からの意見や要望はその場で検討したり、職員会議で話し合いサービスの改善や運営に活かしている。 ・議事録は家族に配布している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） ・市の担当窓口には認定書類や申請の代行業務などで出向き、事業所の状況やサービス内容などを伝えると共に、アドバイスや指導を得るなど良好な協力関係を築いている。 ・地域包括支援センターとは、併設の小規模多機能事業所と合わせて常に交流があり、困難事例の相談等で連絡を取り合っている。 ・市が開催する研修には積極的に参加している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ・入居者からは日々の関わりの中から思いや要望を聴き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは運営推進会議や面会時、行事等来訪時に意見や要望を聞き、その場で話し合ったり、職員間で話し合い、サービスの改善や運営に活かしている。検討内容や結果はホーム便りで知らせている。 ・ご意見箱を設置している。 ・家族向けのホームだよりを発行し、家族に安心を届けている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
	(例示)
2. 事業所と地域とのつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示)
3. 運営推進会議を活かした取組み	① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	(例示)
4. 市町村との連携	① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示)
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○